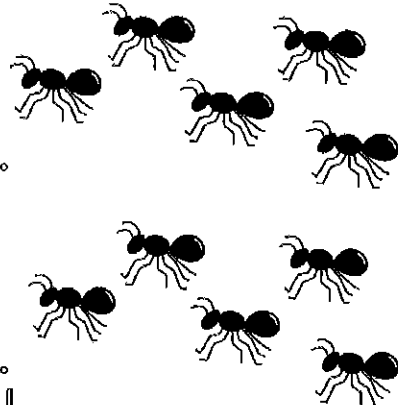


一言の重み

先日、校舎とテニスコートの間の花壇周辺で草取りをしているときのこと。体育館に移動していた1年生の多くが私に気づき、「おはようございます」とさわやかにあいさつをしてくれました。「気持ちいいなあ〜」と思いながら作業をしていると、一人の男子生徒が立ち止まり、「ありがとうございます」の一声。その一言で、さわやかな気持ちが2倍にも3倍にも膨れ上がりました。同時に頭に浮かんだのが知人との会話。『子育ては難しいよね。私は「ありがとう」と「ごめんなさい」を言える子供を育てたい。この言葉を素直に言える子供は、きっと素敵な大人になるよね。』

この男子生徒の何気ない言動に、「なるほど、そうだなあ!!」とあらためて思った次第です。やはり言葉は大事です。一言で人の心を和やかにしてくれる。そういう力を持っています。もちろん、逆もあります。一言で相手を嫌な気持ちにしてしまう。そういう力も持っています。私達は日々、言葉を発し、コミュニケーションをとっています。どういう言葉を発するか。相手にとってその言葉がどうなのか。何よりその言葉を一番聞いている自分はどうなのか……
“一言の重み”、みなさんはどう思われますか。何気ない一言で、自分も相手も幸せな気持ちになる。互いを尊重する。日々、そんな生活をおくっていきたいと思っています。



飛躍・飛翔



今年の生徒会のテーマ“飛躍・飛翔”。これが体育大会のメインテーマでもありますが、先週はそれこそ“飛ぶ鳥を落とす勢い”を感じる練習風景でした。特に印象深かったのは木曜日の6時間目。赤団・青団それぞれが一致団結して懸命に取り組む様子に、感動をおぼえました。さらに、サブテーマがしゃれている。“声出せ!汗出せ!力出せ!広がれ加中の輪“最初にこのサブテーマを見たとき、「ああ、これはカタツムリの歌詞をもじっているな」と思い、同時に「かの有名な北村西望氏の句“たゆまざる 歩み恐ろし かたつむり”の如く、努力の積み重ねの成果があらわれて、“飛躍・飛翔”しているな。」と

思った次第です。教頭先生も、彼らの練習風景を見て、「本当に良く育っていますね。素晴らしい」との感想を述べられていました。今まさに加中の“輪の力”は確実に広がっています。これが波紋のように同心円状に輪が幾重にも広がれば、より素晴らしい集団になると確信しました。

体育大会当日、曇り空で無風という絶好の天候のもと、彼らのエネルギーが爆発し、若さはじける競技・演技を披露してくれました。どの種目も素晴らしかったのですが、その中でも圧巻だったのは、3年生の長縄跳びと全校生徒によるソーラン節。気迫に満ちた演技は見応えがあり、鳥肌が立つほど感動しました。何より真剣なまなざしと笑顔があふれており、とても印象的でした。「この経験が、確実に今後の学校生活に活かされる」と確信できる素晴らしい体育大会でした。生徒のみなさん、感動をありがとう。感謝!感謝!です。